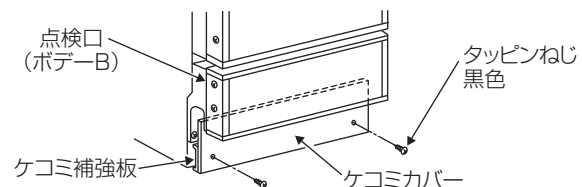


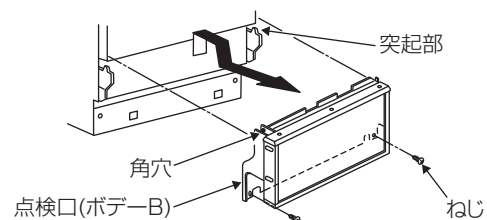
1 現状機器 (NP-9103B) の取り外し・引き抜き

① 給・排水管の取り外し

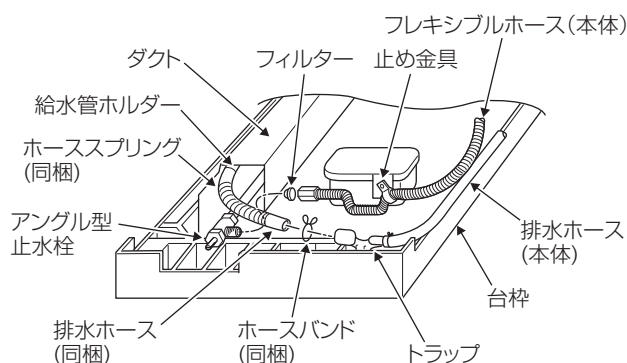
- 1) ケコミ取付けねじ2カ所を外します。



- 2) 点検口 (ボデー B) 取付けねじ2カ所を外し、点検口 (ボデー B) を少し上に持ち上げるようにして外します。

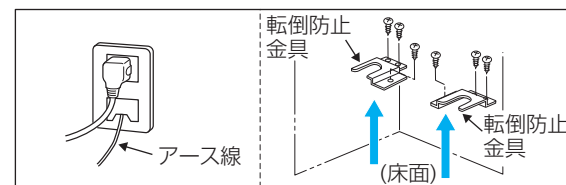
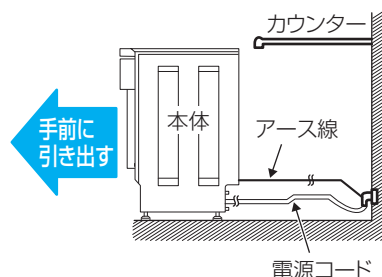


- 3) 止水栓を止め、給・排水ホースの接続を外します。

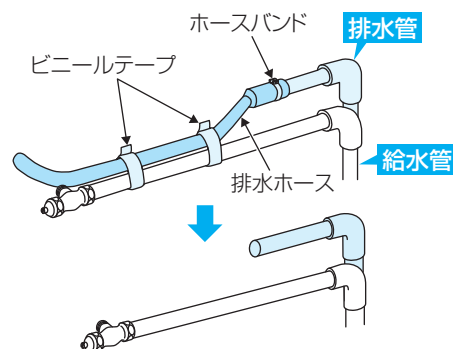


② 本体の引き抜き

- 1) 食洗機本体を引き出し、電源コード、アース線、転倒防止金具を取り外します。



- 2) ホースバンドとビニールテープを外して、排水ホースを取り外します。



2 電源コンセント、電圧の変更工事

NP-9103Bは200V仕様のため、100Vに変更のうえ専用のコンセントを設置します。

既設コンセント例
・単相200V・20A
・アースターミナル付

コンセント

アースターミナル

専用コンセント
・単相125V・15A
・アースターミナル付

コンセント

アースターミナル

電気工事およびアース (接地) 工事は、「電気設備技術基準・内線規程等」に基づいて必ず電気工事士による工事を行ってください。

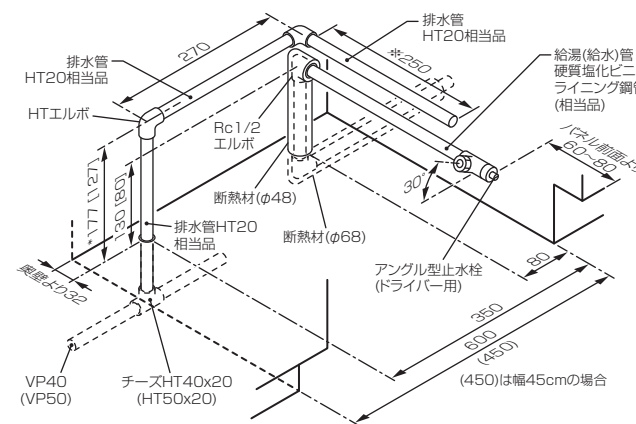
※ コンセントの移設位置は「3 既設給・排水配管の変更」を参照してください。

3 既設給・排水配管の変更

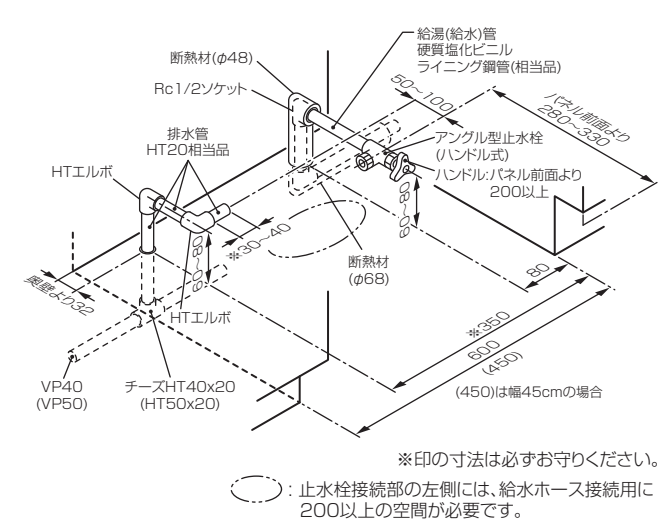
既設の給・排水配管を以下のように変更してください。

幅60cm フロントオープン食洗機 既設配管

床立上げの場合 ※: 排水管の長さ250は、キッチン奥行L=650基準です。
(キッチン奥行が長い場合は延長してください。)
*: 排水管高さ177 [127]は、建築基準法上必要な寸法です。



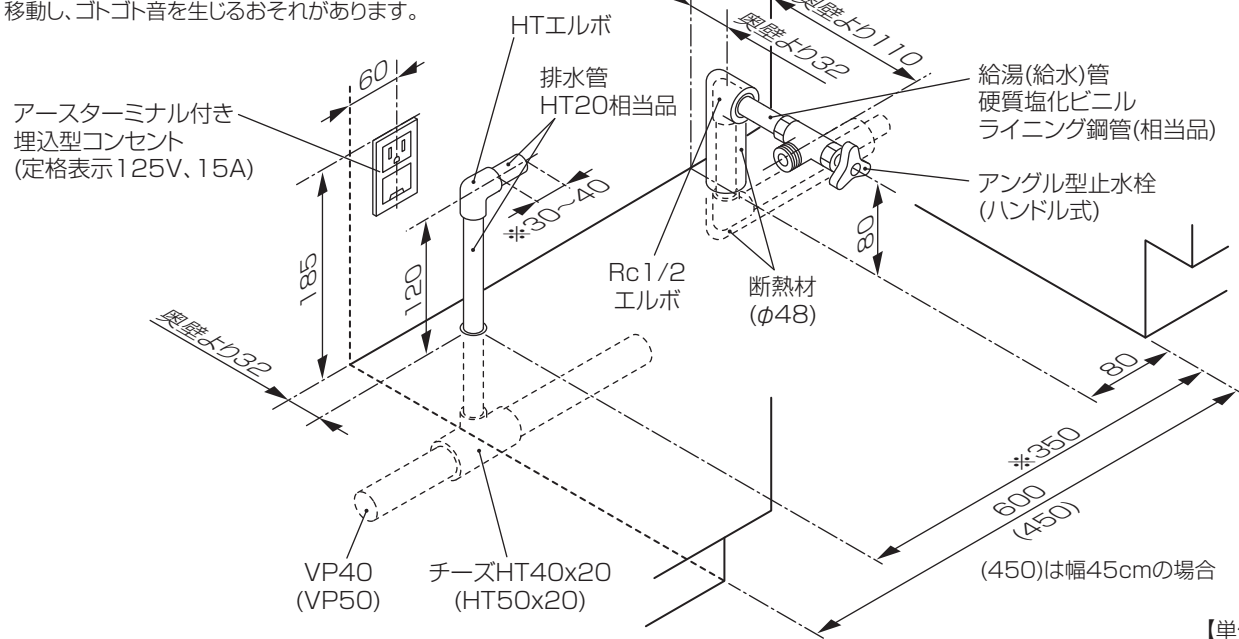
幅60cm プルオープン食洗機 既設配管



幅60cm ワイド / 幅45cm ディープタイプ食洗機 下部収納配管変更仕様

- 止水栓は必ず固定ゴマタイプをご使用ください。落しゴマタイプを使用すると、水栓内でゴマが移動し、ゴトゴト音を生じるおそれがあります。

※印の寸法は必ずお守りください。



- 間口寸法以外は幅45cm機種の場合でも配管変更寸法は同じです。
- 食洗機右側にサイドキャビネットを設置する場合は、配管、コンセントを上記指示寸法から150mm左へずらしてください。
- 排水管が床ころがし配管の場合など、下部収納キャビネットと配管、配線類が接触する場合は、キャビネットを一部カットすることもできます。「5 ドア面材型専用 下部収納キャビネットの設置1、2」を参照してください。

4 ドア面材型専用 幅 15cm サイドキャビネットの設置

サイドキャビネットに同梱の取付設置説明書の内容を十分に理解の上設置してください。
部材・部品表

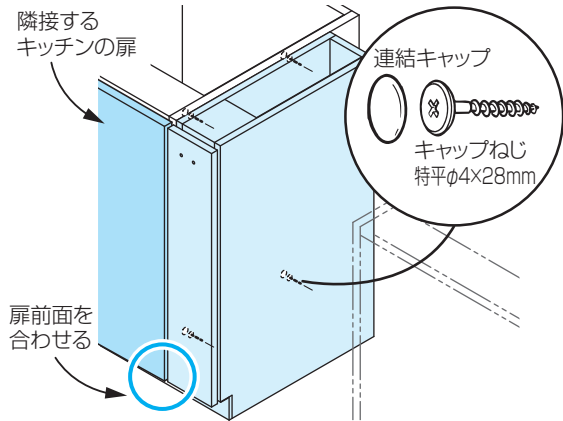
①サイドキャビネット本体 (1個)	②キャップねじ(特平φ4×28mm) (4個)	④取っ手(取付ねじ付) (1個)	⑥パッキン(2種) (各1枚)
	③連結キャップ(スーパーホワイト) (4個)	⑤木口化粧パーツ (2個)	

1 設置

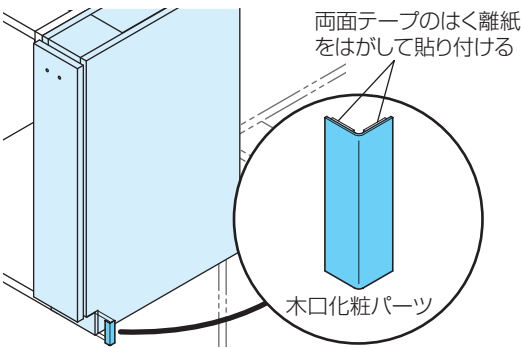
- 食洗機左側に設置する場合で説明しています。
- 1) 隣接するキッチンとサイドキャビネットとの扉前面を合わせて、サイドキャビネットを挿入します。
- 2) 外側から連結ねじで連結、固定します。

【ご注意】
ねじ止めの前に、サイドキャビネットと隣接するキッチンの側板の厚みを確認して、ねじ先が貫通しないことを確認してください。

- 3) 連結キャップを取り付けます。

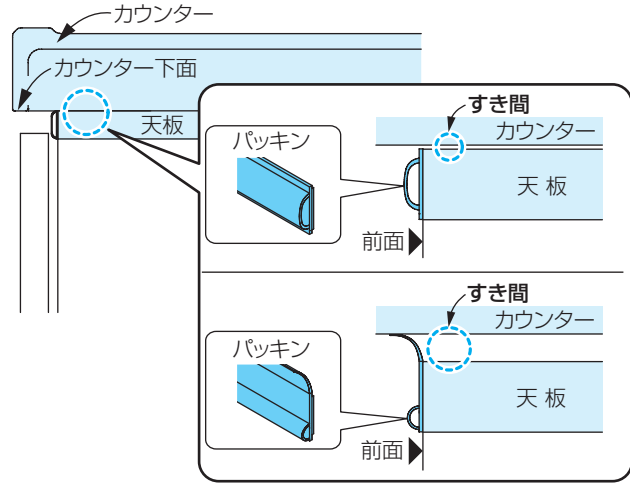


- 4) 台輪木口が見える場合は、必要に応じて、木口化粧パーツを貼り付けます。



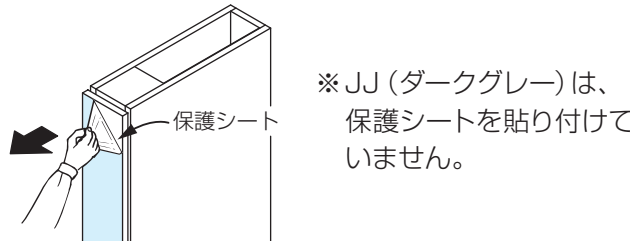
2 パッキンの取り付け

- 1) カウンター下面と、サイドキャビネット天板のすき間の広さに応じて2種類いずれかのパッキンを貼り付けます。



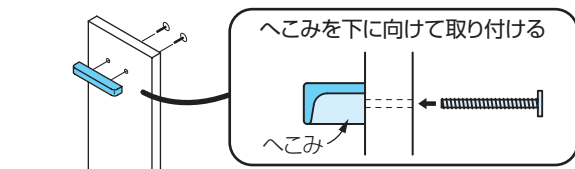
3 保護シートの取り外し

- 1) 扉前面に貼り付けてある保護シートをはがします。
※ 取っ手を取り付ける前に保護シートをはがしてください。



4 取っ手の取り付け

- 1) 取っ手を取り付けます。



- 2) 以降の作業での傷つきを防止するため、扉を取り外しておきます。

5 ドア面材型専用 下部収納キャビネットの設置 1

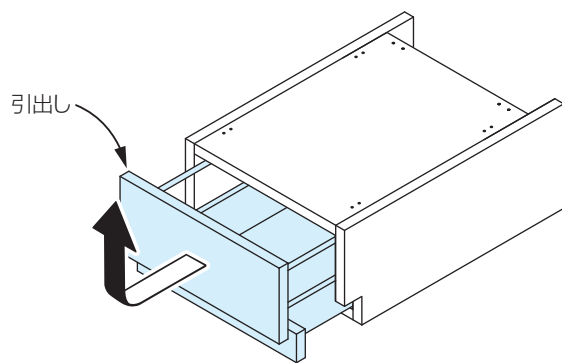
下部収納キャビネットに同梱の取付設置説明書の内容を十分に理解の上設置してください。
特に、「安全上のご注意」は必ず確認してください。

部材・部品表

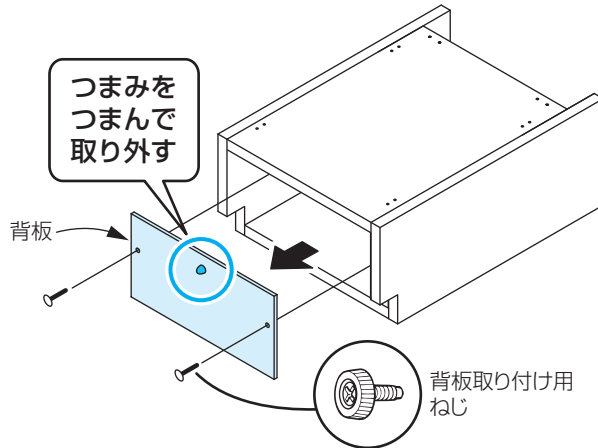
①ユニット本体(フィラーパッキン同梱) (1個)	②前ズレ防止金具A (L/R 各2個)	③転倒防止金具 (2個)	⑤キャップねじ(特平φ4×28mm) (4個)
	④前ズレ防止金具B (2個)	⑥連結キャップ(スーパーホワイト) (4個)	
⑦なべタッピンねじ(φ4×14mm) (12個)	⑨高さ調整スペーサー (各1枚) 1mm 2mm 3mm	⑪すき間確認スペーサー(厚み3.5mm) (1個)	
⑧トラス小ねじ(M4×8mm) (2個)	※ハーフカットの位置から4枚に切り離して使用します。 ※必要に応じた厚みの物をご使用ください。	※設置後に扉材の上のすき間を確認する際に 使用します。	⑫取付設置説明書 (1枚) ⑬取扱説明書 (1枚)
	⑩フィラーパッキン(1枚)		

1 背板の取り外し

- 1) 引出しをいっぱいまで引き出し、持ち上げて引き抜きます。

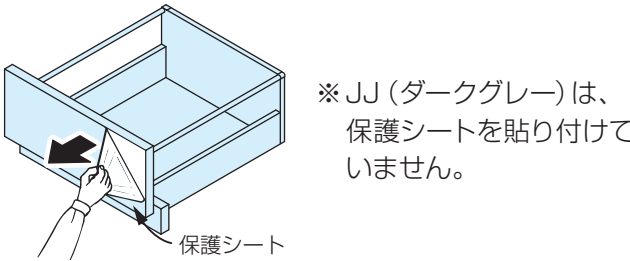


- 2) 背板取り付け用ねじをはずし、背板を取り外します。



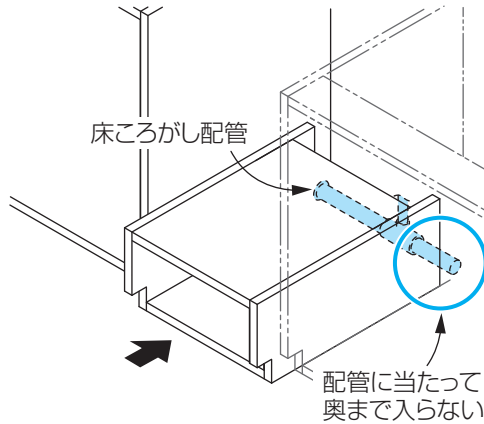
2 保護シートの取り外し

- 1) 扉前面に貼り付けてある保護シートをはがします。



3 キャビネットの仮セット

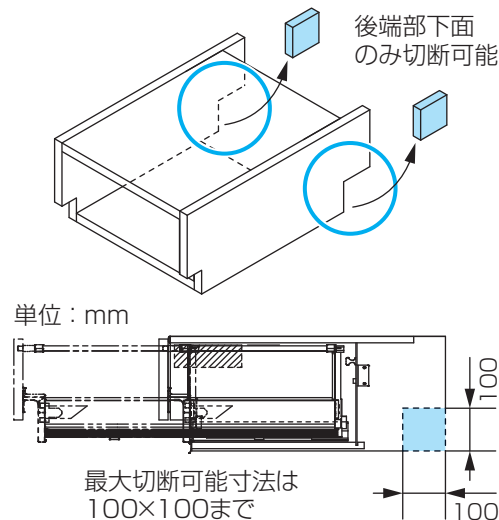
- 1) 下部収納キャビネットを、いったんキッチンの設置スペースにセットします。
- 2) 下部収納キャビネットが、床ころがし配管や、電源コード類に接触して奥まで入らない場合は、キャビネット後端下部をカットすることが可能です。



5 ドア面材型専用 下部収納キャビネットの設置2

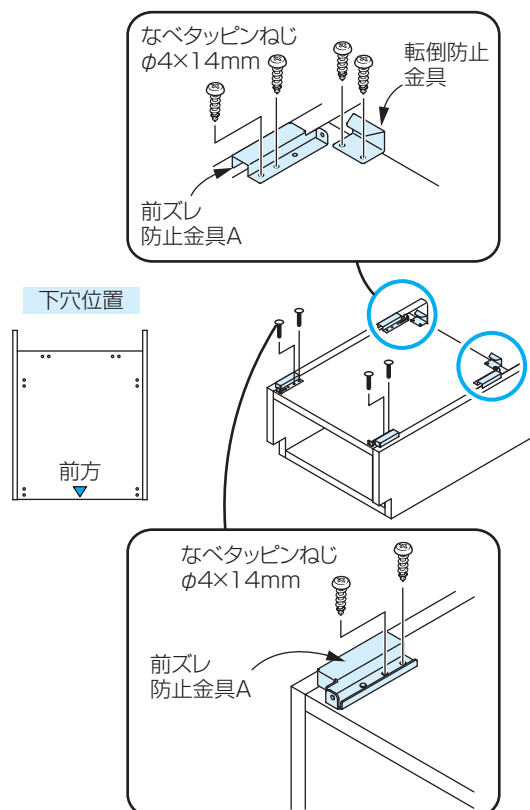
4 キャビネットの加工 (必要時のみ)

- 下部収納キャビネットの加工は、キャビネット後端部の下面部に限って可能です。
加工できる寸法は100mm×100mmまでになり、それ以上の加工が必要な場合は、キッチン側(配管側)を加工してください。



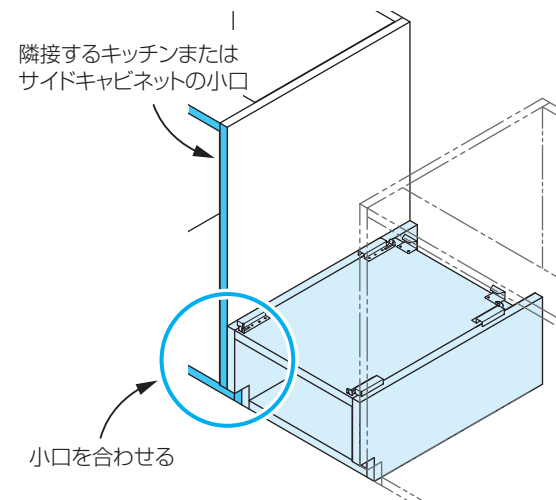
5 金具の取り付け

- ユニットの下穴に合わせて、転倒防止金具と前ズレ防止金具Aを取り付けます。



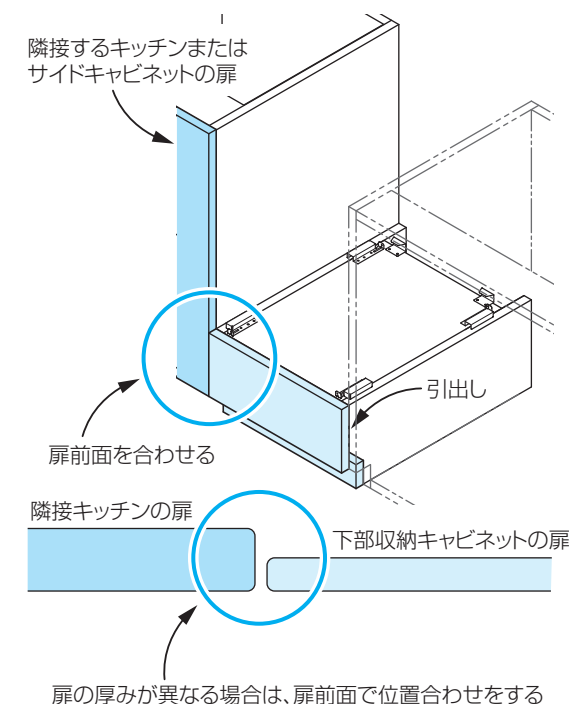
6 下部収納キャビネットの位置合わせ

- 下部収納キャビネットと、隣接するキッチンまたはサイドキャビネットの小口を合わせます。



【ご注意】

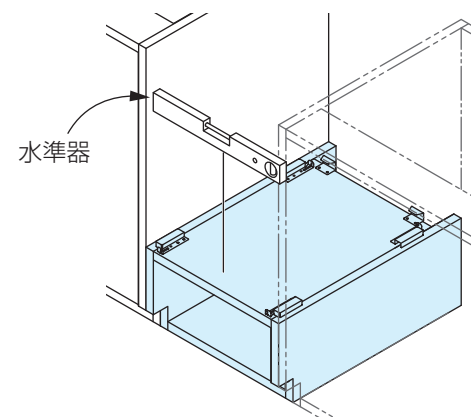
下部収納キャビネットと、隣接するキッチンまたはサイドキャビネットの扉の厚みが異なる場合は、扉および引出しを取り付けて、扉前面で位置合わせを行ってください。



5 ドア面材型専用 下部収納キャビネットの設置3

7 水平の確認

- 床の水平を確認後、下部収納キャビネットを設置スペースに配置します。
- 水準器を使用して、前後、左右方向の4方向に傾きがないことを確認してください。

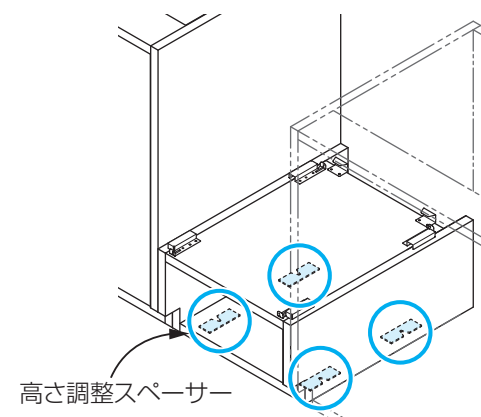


【ご注意】

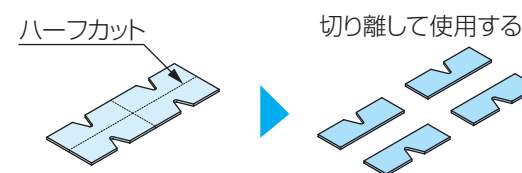
下部収納キャビネットに傾きがあると、設置不良による不具合の原因となるため、水準器を使用して確実に確認、調整してください。

8 高さ調整スパーサーの取り付け

- 必要に応じて下部収納キャビネットの底板下に高さ調整スパーサーを挿入して、水平面および高さを調整します。

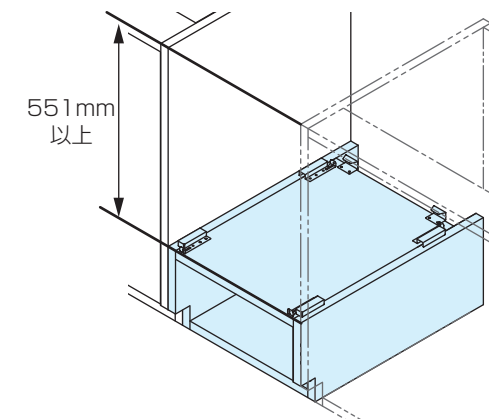


- 高さ調整スパーサーは、ハーフカット部で切り離して使用してください。



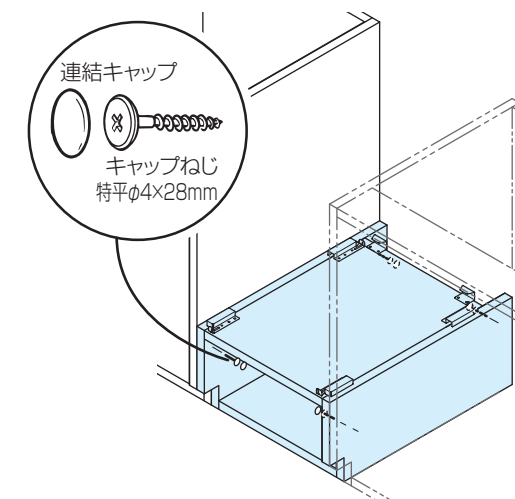
9 高さの確認

- 水平および高さの調整が完了したら、下部収納キャビネットの上の、設置空間高さを測定します。
※ 本体の高さ546mm+必要すき間5mmの合計551mm以上の高さがあることを確認してください。



10 下部収納キャビネットの固定

- 扉前面で位置合わせを行った場合は、下部収納キャビネットをずらさないように、引出しを引き抜きます。
- キャップねじで下部収納キャビネットを固定します。



【ご注意】

ねじ止めの前に、下部収納キャビネットと隣接するキッチンの側板の厚みを確認して、ねじ先が貫通しないことを確認してください。

- キャップねじで下部収納キャビネットを固定したら、ねじ頭に連結キャップを取り付けます。

6 食洗機本体の設置

1 コード類の束ね

- 1) 食洗機同梱の取付設置説明書を参照して、コード類を束ねます。

2 電源コード・アース線の接続

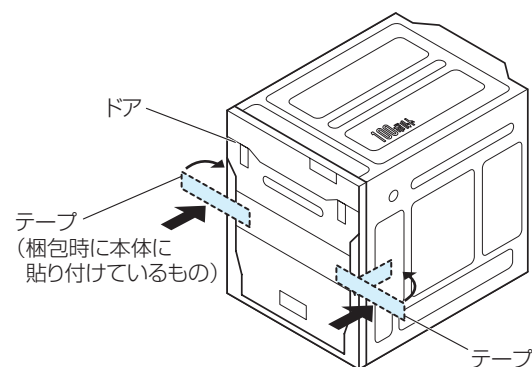
- 1) 食洗機同梱の取付設置説明書を参照して、電源コード、アース線を接続します。

3 フィラーの取り付け

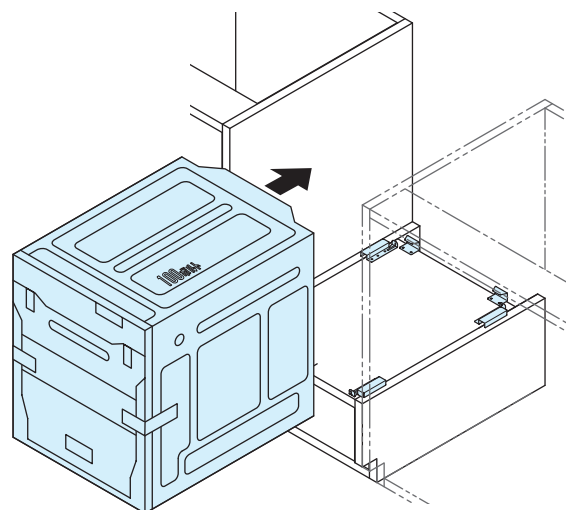
- 1) 食洗機同梱の取付設置説明書を参照して、フィラーを取り付けます。

4 食洗機の設置

- 1) ドア前面の飛び出しを防ぐために、梱包時に貼付けていたテープで、本体とドアを固定します。



- 2) 下部収納キャビネットの上部に食洗機本体を設置します。
設置は、転倒防止金具が食洗機本体背面にはまりこむまで本体を押し込みます。



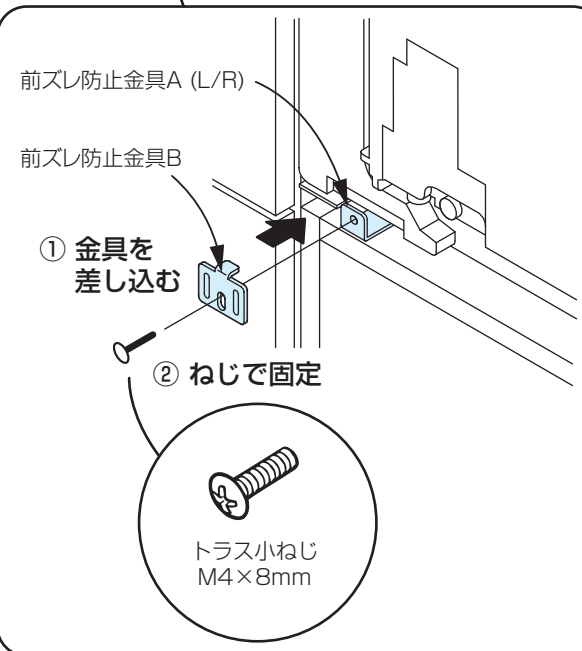
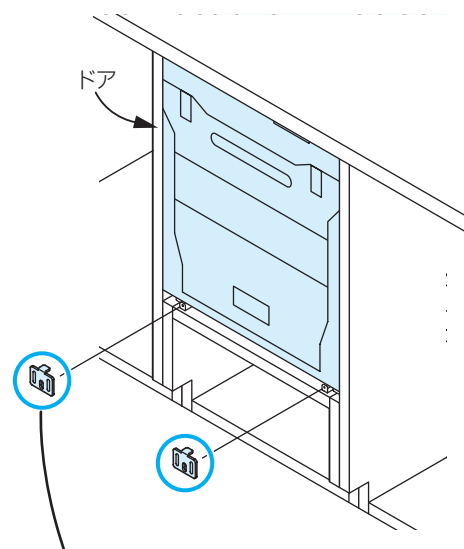
【ご注意】

- 1) で貼り付けたテープは、本体をすべて押し込む前にはがしてください。

【ご注意】

- 転倒防止金具に食洗機のコードやホースなどを挟み込まないようにしてください。
- 後ろに取り付けた前ズレ防止金具が当たって入れにくい場合があります。後ろを持ち上げながら設置するようにしてください。
- 設置の際は、食洗機の取付設置説明書を参照してください。

- 3) 前ズレ防止金具Bを前ズレ防止金具A (L/R) に差し込み、トラス小ねじで固定します。



5 ホースジョイントの取り付け

- 1) 食洗機同梱の取付設置説明書を参照して、ホースジョイントを取り付けます。

7 ドア面材の設置 1

ドア面材の設置は、食洗機本体に同梱の取付設置説明書の内容を十分に理解の上設置してください。特に、「安全上のご注意」は必ず確認してください。

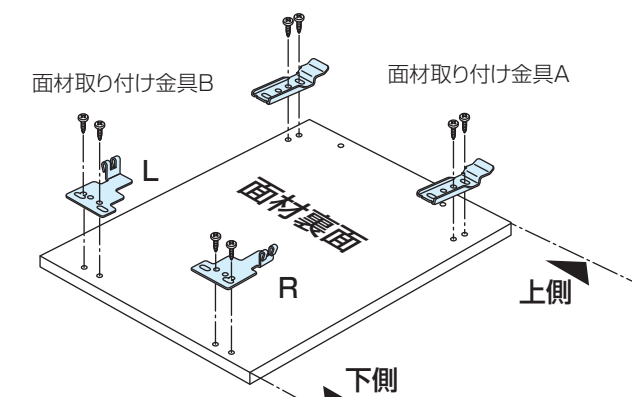
部材・部品表

①ドア面材 (1枚) t=15mm	②取っ手 (1個)	③ねじ (2個)
-------------------------	--------------	-------------

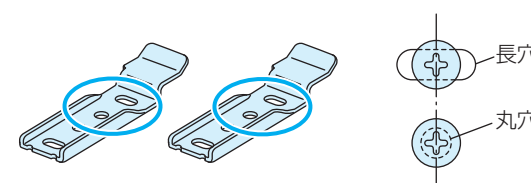
※ ドア面材取付金具は、必ず食洗機本体(脚ユニット)に同梱されている、(4×14mm)のネジを使用してください。

1 ドア面材の取り付け

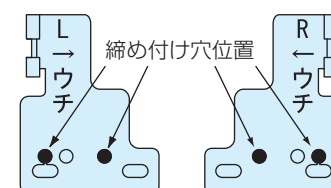
- 1) ドア面材の裏側に、食洗機本体同梱の面材取り付け金具A、Bを取り付けます。



※ 面材取り付け金具Aは、丸穴と長穴の中心で締め付けます。



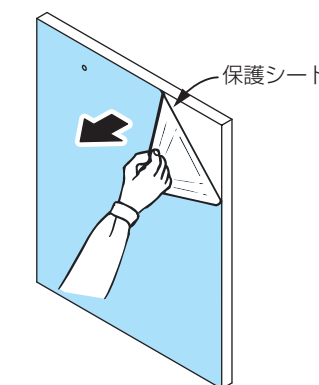
※ 面材取り付け金具Bは、刻印の矢印をドア面材内側に向けて、締め付け穴位置で締め付けます。



【ご注意】

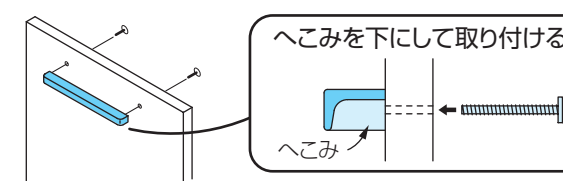
面材取り付け金具Aには、食洗機本体同梱のスペーサーを入れないでください。結露の発生や、自動ドアオープンの検知感が悪くなります。

- 2) 扉前面に貼り付けてある保護シートをはがします。
※ 取っ手を取り付ける前に保護シートをはがしてください。



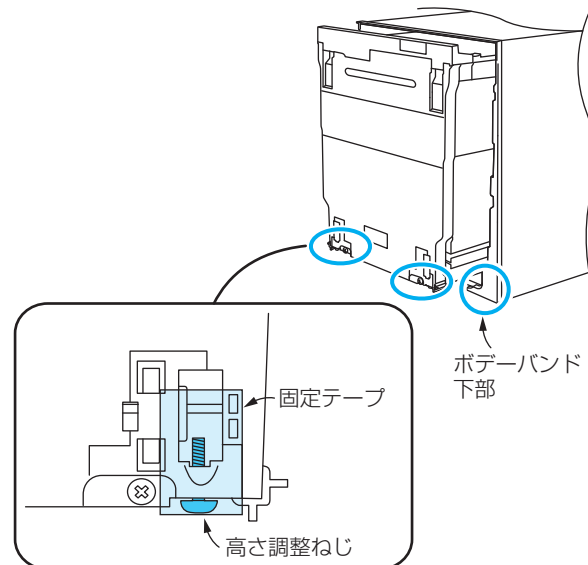
※ JJ (ダークグレー) は、保護シートを貼り付けていません。

- 3) ヘこみ側を下に向けて、取っ手を取り付けます。



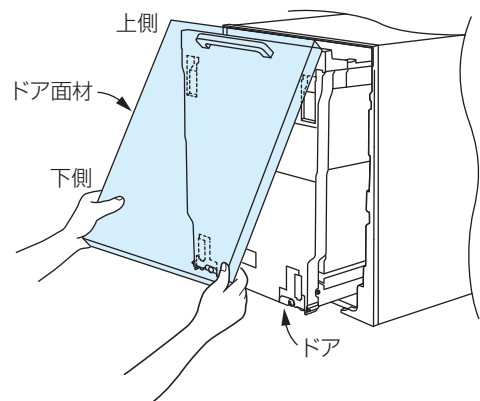
7 ドア面材の設置2

- 4) ドアの高さ調整ねじ2か所に貼り付けている固定テープをはがして、ねじが緩んでいるか確認します。

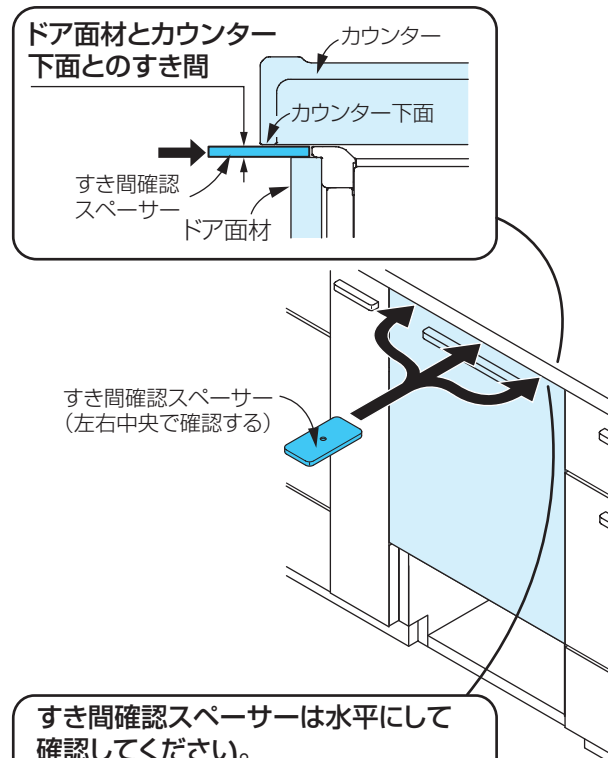


- ※ ドアの高さ調整は、ドア下部の外側のねじを使用します。(内側のねじは使用しません)
※ ねじを緩めたままドアを押し込むときは、ねじがポデーバンド下部に当たらないように注意してください。

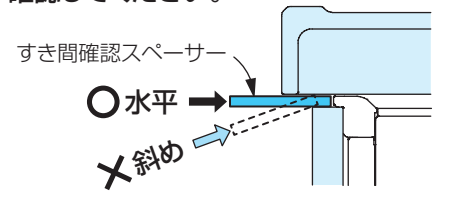
- 5) ドア面材裏面の面材取り付け金具をドアの穴位置に合わせて、上側、下側の順でドアにはめ込む。



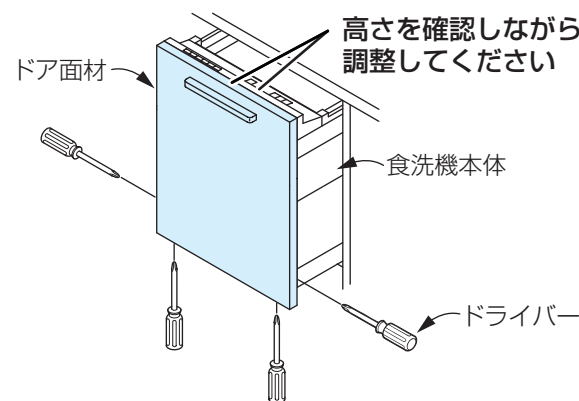
- 6) ドア面材上部とカウンター下面との間に、すき間確認スペーサーが入るか確認してください。



すき間確認スペーサーは水平にして確認してください。



- 7) すき間確認スペーサーが入らない場合、不具合の原因となるため、必ずすき間を調整してください。調整の際、ドア面材と食洗機本体上面の高さが合っていることを確認してください。



- 8) 調整が完了したら、ドア面材左右のねじを本締めしてください。(適正締め付けトルク: 1.0 ~ 1.5 N・m)
9) 固定後、面材の下部を手前に引き、確実に固定されていることを確認してください。

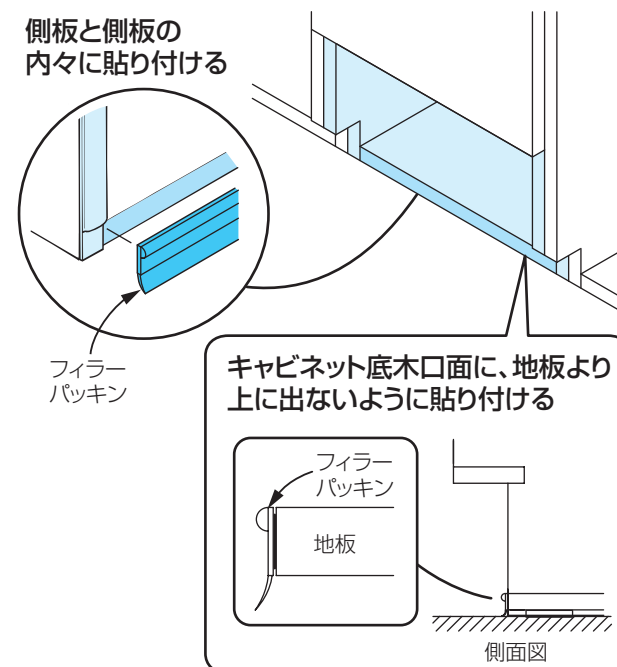
8 食洗機本体設置後の作業

1 給・排水管との接続

- 1) 食洗機同梱の取付設置説明書を参照して、給水管および排水管を接続します。

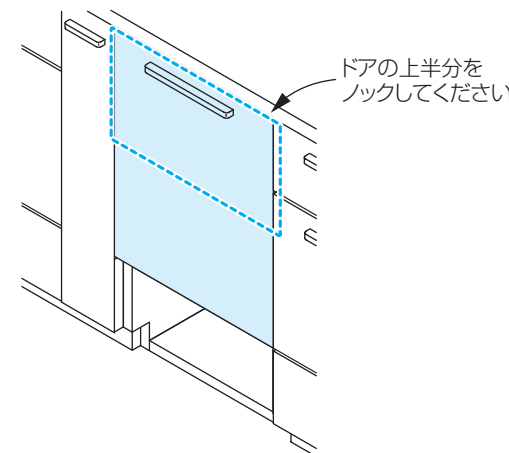
2 フィラーパッキンの取り付け

- 1) フィラーパッキンは、カットが必要です。左右の側板の寸法を除いた寸法(約420mm)にカットしてください。
2) 下部収納キャビネットに付属のフィラーパッキン(引出しに1枚付属)を貼り付けます。



3 自動ドアオープンの確認

- 1) 電源コード、アース線が接続されていること、およびブレーカーが入っていることを確認します。
2) ドアの半分より上を2回ノックするとドアが自動で開くことを確認します。



4 試運転の実施

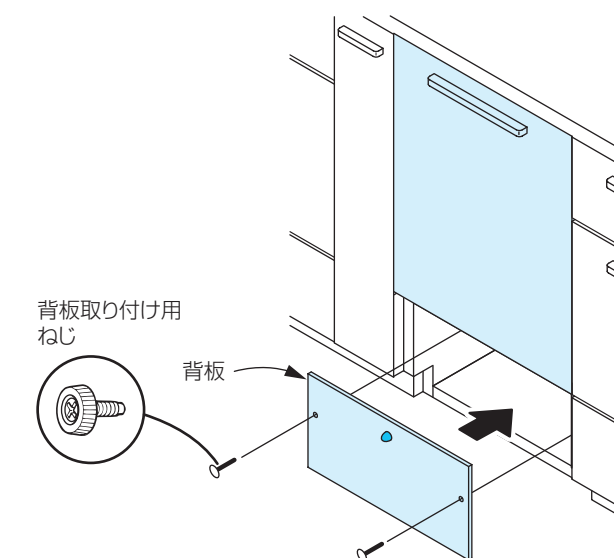
- 1) 食洗機同梱の取付設置説明書を参照して、試運転を実施します。

5 水漏れの確認

- 1) 食洗機同梱の取付設置説明書を参照して、水漏れの有無を確認します。

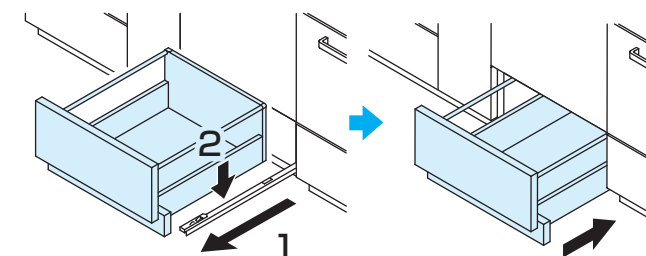
6 背板の取り付け

- 1) 背板を取り付けます。



7 引出しの取り付け

- 1) レールをいっぱいまで引き出します。
2) 引出しを適当な位置にのせます。
3) そのまま奥まで押し込んで取り付けます。



- 4) 引き出しとドア面材のすき間を確認します。すき間が大きい、または小さい場合は、面材を調整してください。
5) 2~3回開閉して確実に取り付けられていることを確認してください。

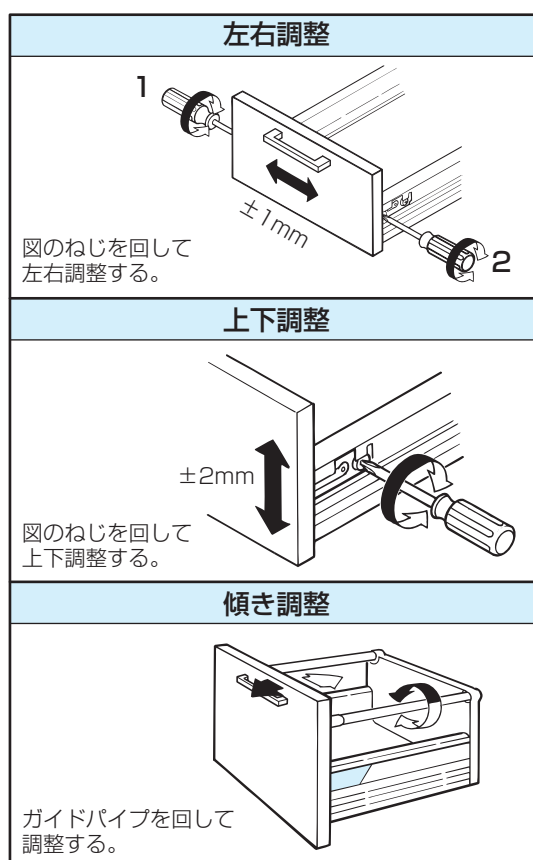
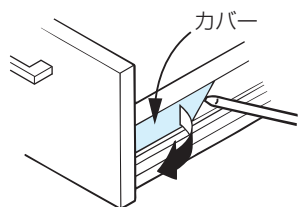
8 設置後の点検

- 1) 各取付設置説明書に記載の、設置後の点検(取り付け後の点検)を行います。

9 各部の調整

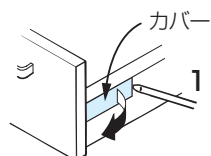
1 下部収納キャビネット引出しの調整

- 1) 下部収納キャビネットの、引出しの前板を調整する場合は、カバーを取り外してから行ってください。



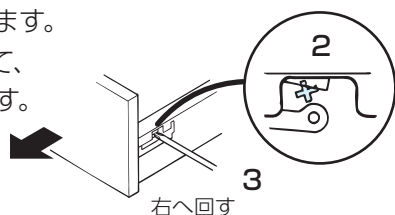
前板の外しかた

- 1) カバーを外します。



- 2) プラスドライバーを+に差し込みます。

- 3) ロックを外して、前板を外します。



2 サイドキャビネット扉の調整

- 1) サイドキャビネット引出しを調整する場合は、ヒンジのねじで調整してください。

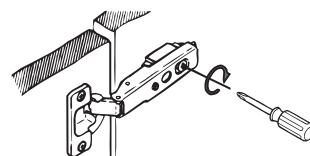
扉の状態	調整のしかた
左右に傾いた	①を回すと矢印方向に動く
扉が前に傾いた	②を緩めて扉を前後に移動させ、しっかり締める ※カム式は3本ライン ※カム式の場合 ②を回すと扉が前後方向に動く
扉が下がってきた	③を緩めて扉を上下に移動させ、しっかり締める ※カム式は3本ライン ※カム式の場合 ③を回すと扉が矢印方向に動く

※ 扉の調整後は、必ず扉を2～3回開閉し、扉が確実に固定されていることを確認してください。

がたつきがある場合

扉ががたつく場合

ヒンジ固定ねじをプラスドライバーで締めてください。



取っ手ががたつく場合

プラスドライバーで扉裏面にあるねじを固く締め付けてください。

